

トランプの真実（リバティー誌等からの情報）

担当:石田昭 2023年6月25日

- 1 **トランプ起訴**: ダニエル・P 女優への口止料を一族の企業が支払った、その資料の改ざん（本来軽犯罪）を 34件（小切手の枚数）の重罪に仕立て上げた。A.Bragg 検事の手法が杜撰。反トランプのボルトンさえ、法的根拠が貧弱だと嘆息。検事誕生はソロスの支援。
- 2 **政敵抹殺の悪意**: 業務記録改ざんは時効2年、今罪に問うには重罪が必要、「他の犯罪を隠す目的で改ざんした場合は重罪にする」という州法を適用。選挙違反の連邦法を混用。
- 3 **日本の報道**: 「34の罪、最高で136年の懲役刑の可能性」、異常な司法の武器化は不問。
- 4 **圧力の存在**: Bragg 検事の選挙公約はトランプ起訴、しかし当初は無理と判断していた。オバマ陣営の顧問が Bragg の顧問に送りこまれてから、性急な無理筋起訴が開始された。
- 5 検事も、陪臣員も反トランプの民主党支持者という異常。判決は大統領選挙の後になりそうだが、「トランプは犯罪者」という印象を与えられる。印象操作は中国共産党の常套手段。
- 6 連邦選挙委員会は違法性なしの見解なのに、地方検察官に起訴の権限があるのか、疑問。
- 7 **議事堂襲撃事件の真相**: 特別委員会メンバー構成、親トランプ系2名をペロシが拒否。
- 8 共和党下院の勝利後、T・カールソンが公開ビデオを暴露。ペロシの委員会は破壊的な暴動ではないこと承知でテロ行為だと決め付けていた。トランプ再選を防ぐための委員拒否。
- 9 議事堂警察長官の安全対策強化要請もペロシが拒否したこと、トランプが「平和的で爱国的な行進」を呼びかけ、議事堂侵入者にも、帰宅を呼びかけていたことなども判明。暴動を焚きつけたのは FBI。当時から、警察側が議事堂進入を誘導している写真が報道されていた。
- 10 **検閲産業複合体**: Biden 政権は“FakeNews 対策”と称し BigTech 等を巻き込んだ連合体を組織し、「ワクチン接種を躊躇させる内容は誤情報とみなす」など左翼思想の拡散、保守派言論の弾圧。「アメリカ政治史で最も広範で包括的な“不正投票組織”を構築」 Biden 演説
- 11 ヒラリーの「トランプはロシアと共に謀して2016年の大統領選挙を盗んだ」も複合体。
- 12 **軍産複合体**: JFK 暗殺は CIA が関与、彼は就任時に CIA と情報機関の目的が『新しい戦争の絶え間ないパイプライン』の構築だと気付いた。ベトナム戦争にも反対して、暗殺。
- 13 第三者が DS 見解を代弁し、拡散させる巨大権力の存在を、世界は警戒すべきである。トランプが復活すれば、世界はオセロゲームのように、ひっくり返る。岸田総理の無明！
- 14 **ネット情報**: 映画「太陽の法」の中に、レブ系宇宙人を「神」として崇めるアンデスの住民の姿あり。悪質宇宙人を神と妄信する現代版の人類が DS メンバーに該当するか？
- 15 児童人身売買、小児性愛、アドレノクロム等々の撲滅に立ち向かっている英明な政治家がトランプであり、プーチン。LGBT 法案の目的は小児性愛の合法化、最終的には人間が闇の世界でレブ的宇宙人の餌（生贊）にされる、アンデスの民と同じ悪魔崇拜である。
- 16 ヨハネの黙示録2章9節に、「ユダヤ人の素振りをする悪魔教徒がいる」と明記。エマニュエル大使、ルーズベルトなど。「初めであり、終わりである者、死んだことがあるが生き返ったものが次のように言われる。私はあなたの苦難やまずしさを知っている（しかし、実際はあなたは富んでいるのだ）。またユダヤ人と自称してはいるが、その実ユダヤ人ではなくてサタンの会堂に属するものたちに誇しられるれていることも知っている。トランプを誇る DS は悪魔崇拜を公言している。
- 17 映画「神秘の法」で、「核のボタン」が押される時レブ系宇宙人が「よし、行くぞ」「アッ、地球意識が！」という場面。悪質宇宙人が「一億2千万年前からサタンたちにやらせてきたことだから、抜かりはいけないぞ。」「わかりました。二ハオ」という台詞もある。
- 18 メル・ギブソンが小児性愛（Child Sex Trafficking）のドキュメンタリー映画を製作。